

令和4年度 事業報告

令和4年度は、コロナ禍において国内外における古紙を取り巻く環境が変化し続ける中、日本の紙リサイクルシステムの維持、古紙品質の維持・向上に向け、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業を4つの柱として次のとおり実施した。

なお、本年度よりSDGsを紙リサイクルをはじめとするセンター各事業と紐づけ活動を開始した。

1. 古紙品質安定対策事業

国内での幅広い古紙利用、及び東南アジアの低品質古紙輸入禁止の動きが拡大する中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。



(1) 古紙品質調査事業（平成24年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地区	段ボール	新聞	雑誌
北海道地区	1工場 2ベール	1工場 2ベール	
東北地区	1工場 2ベール		
関東地区	5工場 10ベール	4工場 8ベール	10工場 20ベール
中部地区	3工場 6ベール	2工場 4ベール	4工場 8ベール
近畿地区	3工場 12ベール	1工場 4ベール	2工場 4ベール
中・四国地区	2工場 4ベール	1工場 2ベール	1工場 2ベール
九州地区	2工場 4ベール	2工場 4ベール	3工場 5ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】

	段ボール	その他紙 (基準 3%以下)	禁忌品(A+B) (基準 0.3%以下)
令和4年度	97.8%	1.8%	0.4%
令和3年度	96.7%	1.8%	1.5%
過去8年平均 ^注	96.9%	2.5%	0.6%

注) 過去8年平均は、平成25年度～令和2年度の8年間の平均。

【新聞】

	新聞	チラシ	その他紙 (基準 1%以下)	禁忌品(A+B) (基準 0.3%以下)
令和4年度	66.3%	31.8%	1.7%	0.2%
令和3年度	64.2%	33.5%	2.1%	0.2%
過去8年平均	61.6%	35.8%	2.3%	0.3%

【雑誌】

	雑誌	その他紙 (基準 5%以下)	禁忌品(A+B) (基準 0.5%以下)
令和4年度	72.8%	26.6%	0.5%
令和3年度	66.4%	32.9%	0.7%
過去8年平均	63.3%	35.9%	0.8%

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル報告及びトラブルに至らなかったもので改善を促した古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告するとともに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

() は昨年度件数

地区	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
関東地区	1 (4)	2 (1)	3 (7)	9 (5)	5 (5)	20 (22)
合計	1 (4)	2 (1)	3 (7)	9 (5)	5 (5)	20 (22)

品質改善を促した古紙品質情報は、製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである(令和4年4月～令和5年2月集計)。

【受入れ時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
北海道地区		10		8	19	37
東北地区					1	1
関東地区		90		215	108	413
静岡地区		4		4	157	165
中部地区		2		7	10	19
近畿地区		7		52	69	128
中・四国地区		4		1	198	203
九州地区		62		78	226	366
合計	0	179	0	365	788	1,332

【仕込み時検収】

	感熱性 発泡紙	臭いの ついた紙	昇華 転写紙	ロウ段	その他	計
東北地区	2	8		44	51	105
関東地区			17			17
静岡地区						0
中部地区		3		31	58	92
近畿地区		10		13	4	27
九州地区		11		10	82	103
合計	2	32	17	98	195	344

(3) 個別古紙品質対策

トラブル報告及び古紙品質報告の際に、製紙メーカーから提供された新規のロウ引き段ボール箱及び金属異物等の写真を地区委員会等で説明し、混入防止を呼びかけた。

2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底や未利用古紙の掘り起こし等に関する事業をコロナ禍において可能な範囲で実施し、未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施に取り組んだ。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図り、3年ぶりに表彰式を実施した。



(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル研修会

ア 紙リサイクル研修会

研修会を対面にて5件、オンラインにて1件実施した。新型コロナウイルスの感染が徐々に収束し、研修会を再開する自治体があったことから、申し込みが昨年度に比べ増加した。

また、研修会にて参加者が視聴する動画のリニューアルを行った。古紙問屋にて古紙を処理する工程と製紙会社にて古紙を再生する工程がわかる内容となっている。

開催日	開催地	対象者	参加者数	形式	申込団体等
令和4年 5月13日	茨城県 つくば市	しくば・市民ネットワーク会員	17名	online	つくば・市民ネットワーク 事務所
8月27日	奈良県 三宅町	三宅町町民	26名	対面	三宅町まちづくり推進部 環境衛生課
11月18日	石川県 金沢市	石川県再生資源事業協同組合、 金沢市等	15名	対面	石川県再生資源事業協同組合
令和5年 1月18日	大阪府 貝塚市	貝塚市廃棄物減量等推進員 及び貝塚市再生資源集団回収 推進協議会	43名	対面	貝塚市総務市民部 廃棄物対策課
1月24日	静岡県 富士市	静岡県内を中心とした紙パル プ関連業務従事者	53名	対面	静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援セン ター製紙科
2月16日	千葉県 市川市	市川市廃棄物減量等推進員	64名	対面	市川市廃棄物減量等推 進員地区連絡会
実施数:6回 ・ 参加者数:218名					

イ 自治体の新人廃棄物担当者向け研修会

古紙回収の促進は全国の自治体の協力無くして行うことは難しいことから、新任担当職員を対象に古紙を取り巻く十分な情報を共有することを目的に、オンラインでの研修を以下の内容にて実施した。

また、多くの方が視聴できるように動画を令和5年3月までホームページに掲載した。

日時： 令和4年6月2日(木) 14時00分～16時00分

講演： ①「紙リサイクルの基礎知識」

(公財)古紙再生促進センター 業務部業務課 担当課長 濱野 彰吾

②「紙製造・古紙利用の現場から」

王子マテリア株式会社 技術本部品質管理部 副部長 磯部 智史 氏

③「古紙問屋・集荷の現場から」

全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会 委員長 須長 利行 氏

2) 紙リサイクル出前授業

ア 出前授業の実施

主に小学生高学年を対象に、対面とオンラインを併用して実施した。今年度より中部地区での出前授業を再開し、実施数は63件(対面54件、オンライン9件)、参加者は4,206名

(対面 3,606 名、オンライン 600 名)となり、昨年度に比べ 18 件増加した。

地区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
北海道	①	令和4年9月27日	苫小牧市立泉野小学校3年生	online	79名
関東	①	令和4年5月13日	加茂市立加茂南小学校4年生	対面	36名
	②	5月16日	北区立浮間中学校特別支援学級	対面	22名
	③	6月9日	世田谷区立上北沢小学校4年生	対面	87名
	④	6月15日	上尾市立原市南小学校4年生	対面	75名
	⑤	7月4日	横浜市立能見台小学校4年生	対面	34名
	⑥	7月19日	目黒区立下目黒小学校4年生	対面	85名
	⑦	7月22日	朝霞市小学校4～6年生	対面	32名
	⑧	8月4日	武蔵野市未就学児・小学校低学年	対面	24名
	⑨	8月9日	松原まちづくりセンター 小学校1～5年生	対面	16名
	⑩	8月22日	厚木市小学生	対面	18名
	⑪	9月16日	朝霞市立朝霞第二小学校5年生	対面	99名
	⑫	10月19日	坂戸市立桜小学校3年生	対面	52名
	⑬	11月1日	横浜市立本牧小学校4年生	対面	39名
	⑭	11月27日	板橋区小学校1～5年生	対面	11名
	⑮	令和5年2月4日	足立区小学校1～4年生	対面	8名
静岡	①	令和4年6月16日	富士市立吉永第二小学校4年生	対面	17名
	②	6月20日	富士市立岩松小学校4年生	対面	77名
	③	6月23日	富士市立富士川第二小中一貫校 松野学園小学4年生	対面	58名
	④	7月5日	富士市立東小学校4年生	対面	6名
	⑤	7月7日	富士市立吉原小学校4年生	対面	86名
	⑥	9月5日	富士市立富士見台小学校4年生	対面	38名
	⑦	9月7日	富士市立富士川第一小学校4年生	対面	54名
	⑧	9月15日	富士市立岩松北小学校3年生	対面	32名
	⑨	10月18日	富士市立広見小学校4年生	対面	110名
	⑩	11月10日	富士市立今泉小学校4年生	対面	100名
	⑪	11月24日	富士市立丘小学校4年生	対面	115名
	⑫	令和5年2月27日	富士市立伝法小学校4年	対面	107名
	⑬	3月2日	富士市立吉永第一小学校4年	対面	71名
中部	①	令和4年5月31日	桑名市立大山田南小学校4年生	対面	48名
	②	6月3日	四日市市立常盤小学校4年生	対面	90名
	③	6月6日	名古屋市立弥富小学校4年生	対面	141名
	④	6月7日	岐阜市立城西小学校4年生	online	44名
	⑤	令和4年6月16日	桑名市立深谷小学校4年生	対面	22名
	⑥	6月22日	四日市市立常盤西小学校4年生	対面	133名
	⑦	6月28日	桑名市立大山田東小学校4年生	対面	129名
	⑧	6月29日	名古屋市立広路小学校4年生	対面	94名

地区	地区別回数	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
中部	⑨	7月4日	桑名市立大山田北小学校4年生	対面	86名
	⑩	7月6日	名古屋市立中小田井小学校4年生	対面	81名
	⑪	7月6日、8日	名古屋市立神の倉小学校4年生	対面	94名
	⑫	7月7日	名古屋市立牧之原小学校4年生	対面	39名
	⑬	7月8日	名古屋市立旭出小学校4年生	対面	93名
	⑭	7月8日	桑名市立益世小学校4年生	対面	63名
	⑮	7月12日	名古屋市立八社小学校4年生	対面	86名
	⑯	7月12日	岐阜市立本荘小学校5年生	online	94名
	⑰	7月14日	名古屋市立自由ヶ丘小学校4年生	対面	77名
	⑱	7月26日～29日	愛知県緑化推進委員会みどりの少年団 小学校1～6年生	対面	194名
	⑲	8月25日	瀬戸市本地地域力向上委員会 小学校2～6年生	対面	18名
	⑳	9月7日	名古屋市立松栄小学校4年生	対面	139名
	㉑	9月8日	名古屋市立井戸田小学校4年生	対面	52名
	㉒	令和5年1月20日	東郷町立春木台小学校4年生	対面	72名
㉓	1月29日	植田東学区(植田東小)1～6年生	対面	34名	
㉔	2月7日	瑞穂市立生津小学校4年生	online	63名	
近畿	①	令和4年6月28日	岸和田市立修齊小学校4年生	online	33名
	②	7月8日	和歌山市立伏虎義務教育学校	対面	70名
	③	11月10日	姫路市立高浜小学校4年生	対面	183名
	④	11月30日	大阪市立長吉南小学校5年生	online	49名
	⑤	令和5年2月15日	京都府城陽市立久世小学校5年生	online	100名
	⑥	2月25日	伊丹市立鴻池小学校1～6年生	対面	15名
中・四国	①	令和4年9月26日	島根県立松江養護学校 安来分教室高校1～2年生	対面	10名
	②	10月19日	高松市立高松第一小学校6年生 高松市立高松第一中学校1年生	対面	34名
九州	①	令和4年11月11日	佐賀市立開成小学校4年生	online	79名
沖縄	①	令和5年3月2日	沖縄アミックスインターナショナル小学校2年生	online	59名
実施数:63件、参加者数:4,206名 (昨年度45件、2,817名)					

イ 小学生版出前授業の授業評価

小学生版出前授業の内容について、大学の教育学部の研究室と連携し教材などを開発している機関とともに評価・見直しを行い、関東地区での出前授業にて一部変更した内容にて実施した。

ウ 中学生版出前授業の教材作成

紙リサイクル出前授業は小学生向けの教材しか作成していないことから、今後中学校でも出前授業を実施していくことを想定し、教材などを開発している機関とともに中学校教員へのヒアリング等を行い教材作成の検討を行った。しかし、中学校の学習指導要領では紙リサイクルの関連性が薄く、出前授業に対する中学校でのニーズが限定的であることがわかったため、中学生版のテキストは作成しないこととした。

3) 地域広報活動

各地区委員会で環境関連イベントの参加など以下の紙リサイクル啓発活動を実施した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの中止、あるいは参加の一部見合わせもあった。

九州地区委員会では、毎年作成している子供向け「紙リサイクル読本」を作成し配布した。

地区	開催日	開催地	行事名	内容
静岡	令和4年 8月5日	静岡県 富士市	工業技術研究所 フェア	古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙リサイクルノートの配布、紙すき体験
	令和5年 2月10日 ～11日	静岡県 富士市	ものづくり力 交流フェア2023	古紙分別のパネル展示、古紙分別回収・禁忌品混入防止の呼びかけ、雑がみ回収用袋の配布等
中部	令和4年 8月20日	石川県 金沢市	いしかわ 環境フェア	古紙回収・利用促進PR
	9月17日	愛知県 名古屋市	環境デーなごや 2022	古紙分別のパネル展示、雑がみ・紙製容器包装に関するクイズ、アンケート用紙の配布等
	9月23日 ～25日	長野県 長野市	ながの 環境フェア	古紙回収・利用促進のPR、クイズ、アンケート用紙の配布等
	10月9日	石川県 金沢市	かなざわ エコフェスタ	古紙回収・利用促進PR
	10月20日 10月26日 10月27日 10月28日	愛知県 名古屋市	名古屋市 施設見学会	製紙工場・古紙回収会社 設備の見学会
	11月18日	石川県 金沢市	ペーパー リサイクル講習会	紙リサイクルに関する講習会
九州	令和4年 11月22日 11月24日 12月13日 令和5年 1月26日 1月27日	福岡県 北九州市	古紙リサイクル バスツアー	北九州市内の小学校4校の小学生5年生を対象に古紙の回収・流通・再生の現場の見学会

4) 紙リサイクルセミナー

新型コロナウイルス感染拡大防止対策(会場参加者人数の制限に加え、ライブ配信及び録画配信)を行ったうえで、以下のとおり実施した。

日時： 令和4年10月13日(木) 13時30分～16時00分

会場： 星陵会館 会場参加者数 41名

ライブ配信視聴者数 約100名

録画視聴者数 約660名

講演： ①「紙リサイクルとSDGs」

(公財)古紙再生促進センター 業務部 技術担当部長 甲斐 和生

②「サーキュラーエコノミー(循環経済):グローバルトレンドのインパクト」

公益財団法人地球環境戦略研究機関 主任研究員 栗生木 千佳 氏

③ 「世界の紙・板紙の市場動向について」

国際紙パルプ商事株式会社 グローバルビジネス統括本部

海外営業本部 海外営業1部 部長 高瀬 誠重 氏

5) 啓発資料等の配布

ア 会報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年 4 回、1,100 部/回)として発行した。今年度から会報デザインのリニューアルを実施し、新デザインで発行した。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2023』の掲載データ収集及び原稿作成を行った。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内 訳	件 数
チラシ、パンフレットの提供	54 件
DVDの提供	3 件
啓発用パネルの貸出し	4 件

エ ホームページ

オンラインセミナー及び統計データ等の更新を行い、情報発信に努めた。

オ SDGsレポート

紙リサイクルに関わるステークホルダーの意見を踏まえた基本レポートを発行した。

6) 紙リサイクルコンテスト

14 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2022」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、応募点数の増加のために新たなテーマを設定するなど内容の充実を図り、過去最高に次ぐ 3,273 点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

文部科学大臣賞、金賞及び特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時 : 令和 5 年 3 月 4 日(土) 14 時 00 分 ~ 15 時 00 分

会 場 : ホテルメトロポリタンエドモント 1 階「クリスタルホール」

後 援 : 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

<文部科学大臣賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	福岡県 明治学園小学校 3 年	能美 にな	みんなで目指そう！ 紙リサイクル優等生！
ポスター	愛知県 刈谷市立依佐美中学校 1 年	江坂 蒼依	地域みんなで古紙回収！！

<金賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	長野県 松本市立芳川小学校 6年	小室 涼栞	紙リサイクルは私の夢
	中学生部門	静岡県 静岡市立蒲原中学校 3年	栗原 微始	自分から“やる”リサイクル
ポスター	小学生部門	千葉県 船橋市立中野木小学校 4年	須山 柚葵	聞いて！ぼくたちの声！
	中学生部門	佐賀県 佐賀県立武雄青陵中学校 3年	原田 彩結	紙リサイクルでまた活きる

<特別金賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	東京都 国立筑波大学附属小学校 4年	藤本 怜央菜	リサイクルと節水の両立 (作文)
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	千葉県 千葉市立葛城中学校 3年	山口 愛理沙	今、自分にできること (作文)
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	宮城県 紫山こども絵画造形教室 2年	千葉 結奈	また 会おう (ポスター)

<銀賞>

部 門		学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	小学生部門	福岡県 明治学園小学校 4年	野入 桃子	古紙を生かす ～紙リサイクルの大切さ～
	中学生部門	宮城県 気仙沼市立松岩中学校 3年	佐藤 里桜	続けること 伝えること
ポスター	小学生部門	東京都 世田谷区立山崎小学校 4年	中山 鼎	ありがとう また 紙になれたよ
	中学生部門	宮城県 石巻市立青葉中学校 3年	佐々木 恋海	生まれ変わる資源 ～新聞から絵本へ

<銅賞>

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	三重県 てら小屋遊学舎 4年	佐野 雫	みんなで協力 紙リサイクル
	東京都 品川区立大井第一小学校 5年	上利 遥	未来に届け
	岐阜県 羽島市立竹鼻小学校 5年	浅野 智恵	生まれ変わるなら、 生きているうちに！

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名
作 文	三重県 てら小屋遊学舎 2年	鈴木 結菜	私と母とリサイクル
	東京都 学習院女子中等科 2年	南 明希	リサイクルする社会へ
	静岡県 静岡市立蒲原中学校 3年	清野 日菜子	リサイクルの輪の一員として

部 門	学校名・学年	氏 名	作 品 名	
ポ ス タ ー	小学生部門	東京都 品川区立小山小学校 1年	大岡 晃平	かみをリサイクルしよう
		愛知県 幅下幼稚園・絵画教室 6年	奥村 優月	大切な資源を 紙リサイクルで新しく
		愛知県 豊川市立牛久保小学校 6年	小林 柚菜	変身！リサイクルレンジャー
	中学生部門	青森県 弘前市立第三中学校 2年	一戸 彩乃	リサイクルは 持続可能な社会のピース
		兵庫県 小林聖心女子学院中学校 2年	山縣 真帆	リサイクル家系図
		埼玉県 さいたま市立大宮南中学校 3年	北沢 心都	待って！捨てないで

<学校特別賞>

学校名
愛知県 刈谷市立依佐美中学校

<学校奨励賞>

部 門	学校名
小学生部門	東京都 荒川区立第三日暮里小学校
中学生部門	福島県 白河市立白河中央中学校

7) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

禁忌品見本帳を増刷し、事前確認した追加希望者に配付した。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(56団体)に感謝状を贈呈した。昭和62年開始から累計で1,121団体となった。

推薦地区	団 体 名
北海道	北野第2団地自治会、八親町内会、新明町老人クラブ、桂町内会、函館市本通町会
東北	弘前市立大和沢小学校 父母と教師の会、新屋十條団地子供会、羽田東町、あかねヶ丘二丁目子供育成会、北中山1丁目町内会、広瀬の杜子供会、松浪町協和会衛生部、緑ヶ丘町内会
関東	興野北町会、若宮みつばち会、下代田西町会リサイクル運動、五光自治会、宿矢名自治会、ハイランド2丁目自治会、かぶと山町会、神明町自治会壮年部、元郷四丁目町会、北浦和小学校PTA、美土里タイガース、安塚一自治会、常総市立大生小学校
	新潟

推薦地区	団 体 名
静 岡	富士市立原田小学校 P T A
中 部	甲州市立松里小学校、江南市立西部中学校、寛政町町内会、城山 3 丁目自治会、須賀子供会、鶉小学校 P T A、新庄北小学校 P T A、大野町町会連合会
近 畿	城陽南団地自治会、南遊田第一町内会
中・四国	若草子ども会、三輪団地町内会青年部、滝悠友クラブ、4 区 C 子供会、宮島台子供会、西予市立宇和中学校、余戸亀寿クラブ
九 州	萩原区長会、麻生田校区第 5 町内老人クラブ万年青会、石田昭和会自治会、第三豊寿会、星野村小中学校父母教師連絡協議会、桧台自治会、畑中地区児童会、香椎宮前団地子供会

イ 紙リサイクル関連団体等表彰

令和 4 年度は、集団回収特別活動賞を贈呈する団体は無かった。

2) グリーンマーク

令和 4 年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和 4 年度	累計
事業者数	15 事業者 (新規承認事業者 5 件)	200 事業者
件数	37 件	781 件

【表示内容変更】	令和 4 年度
事業者数	4 事業者
件数	8 件

3. 調査研究事業

国内の調査については、コロナ禍の影響に伴う古紙発生構造の変化や、各地方自治体におけるリサイクル変化等につき地方自治体古紙関連施策調査及び紙リサイクル先進自治体の実態調査を実施した。また、海外の調査については、コロナ禍により現地調査が難しくなったことから海外レポートや Web メディアでの情報収集に努めた。



(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

オフィスや事業所のリサイクル状況につき令和 3 年度調査を元に、データ送付希望のあった 749 自治体別にデータを再編集し、結果を報告した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

ア 地方自治体紙リサイクル施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等に関するアンケート調査を全市区町村対象に行い、1,154 市区町村より回答があり(回答率 66.3%)、その結果を報告書にまとめて地方自治体や

製紙・古紙業界関係者等に配付した。

【地方自治体古紙関連施策調査結果の一部概要】

直近 5 年間で雑がみ袋作成状況について調査したところ、作成した自治体は約 1 割であった。雑がみ袋を作成したと回答した 4 自治体にヒアリングを行ったところ、「雑がみ袋を配付後、雑がみ回収量が増加するようになった」、「家庭系可燃ごみの減量に一定の効果があるものと認識している」など、雑がみ袋作成に対して肯定的な回答が多かったが、一方で紙以外の異物混入が増加してきたとの回答もあった。

イ 紙リサイクル先進自治体の実態調査

住民一人当たりの古紙回収量(原単位)が多い自治体(紙リサイクル先進自治体)のうち、17 市町村の古紙回収量、古紙回収システム、古紙回収量が多い理由等を事例集として取りまとめ、地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報を収集した。また、欧米の古紙品質の調査を実施した。

4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

ウイズコロナにおけるステークホルダーの実情の把握に努めた。

5) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会

イ 包装技術委員会／ISO1860 委員会

ウ 全国牛乳容器環境協議会

エ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

アジア諸国及び欧米の製紙・古紙業界関係者との古紙をキーワードとしたオンライン交流での情報収集を検討したが実施には至らず、海外レポートや Web メディアでの情報収集のみとなった。

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

ア 年間古紙需給統計

イ 古紙需給推移(品種別)

ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移

エ 古紙回収率推移

オ 古紙利用率推移

カ 古紙品種別輸出先別輸出実績

- キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
- ク 中国の古紙輸入量(品種別)
- ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、Fastmarkets RISI の古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページに掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

古紙の回収量が国内消費量を上回る我が国において、安定的な需給バランスをベースとした持続的な回収システムの維持は社会的にも大きな課題であり、国内では少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内・外の中長期的な課題整理に向けて調査を行った。



(1) 古紙余剰対策事業

1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

製紙メーカー、古紙問屋、日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会をメンバーとする「日本の紙リサイクル維持に向けて」の会議を定期的で開催し、古紙需給状況の把握・共有を図った。センターの備蓄事業は実施しなかった。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外調査研究

アジアでの段ボール原紙生産の増加・古紙消費の増加が計画されている中、欧米からの古紙の輸出量が減少しており、段ボールを中心とした世界の古紙の輸出入バランスがどのように変化していくのか様々なデータに基づく2050年までのシナリオ作りを開始した。

本事業は令和4年度～令和5年度にかけて実施することとし、令和4年度は海外の調査機関とともに予想される複数のシナリオについて検討を行った。

2) リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 紙リサイクルの維持

ア 中長期的な紙・板紙生産(内需)及びそれに伴う古紙消費量予測に関する調査

既存のデータについて生産品目ごとに統計手法を用いて将来推計を行い、文献調査やヒアリング調査を通じて、紙・板紙の生産量、古紙発生量と回収量、古紙消費量の増減に影響を及ぼす可能性のある周辺情報を収集し、補正情報として将来推計値を補正するための調査を実施した。

イ オープンセミナー企画・運営

中長期の日本における紙リサイクルのあり方を考えるにあたって、前提となる社会・経済状況の変化や将来像、その課題の共有化を目的とし、「メガトレンド」をキーワードとしたオンラインセミナーの企画・検討を実施した。令和4年度は第3回から第6回の講演動画の撮影及び公開を行った。

ウ 地区委員会におけるヒアリング調査

全国の紙リサイクル関係者に対し、今後の検討課題整理に向けたテーマについての要望・意見並びにそれに伴うセンター事業運営の方向性への意見等、ヒアリング調査を通じての把握、さらに紙リサイクルの実態と展望、中長期ビジョンを検討していくうえで今後の社会・経済状況の変化並びにトレンドについて調査を行った。

エ 地方自治体における紙リサイクルの取り組み等に関する調査

原料としての古紙が全国的に不足傾向にある現状や紙の利用や紙リサイクルの重要性が再評価される動きもある中、古紙回収の一翼を担う地方自治体にヒアリングを行い、各地方自治体の取り組みや意識、現状の問題点などを把握し、また、古紙の排出者である一般消費者が古紙についてどのように認識しているかなどを把握し、紙リサイクルを促進する上での中長期の課題や、今後の古紙回収のあり方を検討・整理するための調査を開始した。当調査は令和4年度～令和5年度にかけて実施することとし、令和4年度は自治体及び一般消費者への調査の事前準備を行った。

オ 古紙再生・回収選別・製紙工場納入に係る GHG と Scope3 の算定に関する調査

過去の古紙利用と環境影響に関わる基礎データや考え方を整理し、現状の「古紙発生～回収～選別加工～製紙工場」に於ける GHG (温室効果ガス=CO₂)及びサプライチェーンに於ける「Scope3(原料調達段階)」の算定を行い、結果を報告書にまとめホームページに公開した。

5. その他の事業

各地区委員会において古紙に関する情報交換、研修会等を実施した。コロナ禍により一部の事業は中止を余儀なくされた。

以 上

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月

公益財団法人古紙再生促進センター